

概要

PowerPanel Personal Edition は UPS (無停電電源装置) と連携し、電源保護関係のソリューションを提供します。PowerPanel Personal Edition によって、UPS のバックアップ操作を簡単に行うことができます。

電源保護ソリューションに関しては、以下の3種類の機能があります:

- UPS を操作し、バックアップに影響する動作を追跡し、電力供給を監視します。
現在と過去の電源関係の問題ログをまとめて確認できます。
- PowerPanel Personal Edition は UPS の電源管理設定をカスタマイズすることができます。
- システムを保護し、電力供給に問題が起きた時、データの消失を防ぎます。

インターフェース

PowerPanel Personal Edition のインターフェースは非常にわかりやすく、UPS のバックアップ操作が簡単にできます。ここではアイコンとインターフェースの関係について説明します。

- メインインターフェースと詳細について。
- アイコンと現在状況の関係について。





メインインターフェース

PowerPanel Personal Edition のメインインターフェースの画面は以下のとおりです。



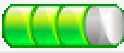

1. 電源種類:

このアイコンは現在の電源の種類が商用電源、またはバッテリーからのものかを表します。

	UPS は作動中です。
	UPS は、バッテリーの電力をコンピュータに供給しています。
	UPS は現在の設備をサポートできません。
	PowerPanel Personal Edition は通信ができないため、現在の電源の種類を認識することができません。



2. バッテリー残量:

このアイコンはバッテリー残量レベルを表します。






	バッテリーが充電されており、表示されている数値がバッテリーの残量です。
	バッテリーによるバックアップ運転中で、バッテリーの電力をコンピュータに供給しています。

3. 実行時間(ランタイム)の目安:

バックアップ運転が実行できる時間を表します。

	バックアップ運転の実行が可能な時間を表します。商用電源で電力を供給する場合、このアイコンが現れます。
	バックアップ運転が実行できる残りの時間を表します。電源障害によりバッテリーで電力を供給する場合、このアイコンが現れます。

4. 特殊ボタン:

	電源障害が起こった場合、警告音が鳴り、このアイコンが現れます。
	ヘルプを呼び出します。
	PowerPanel Personal Edition を最小化します。
	PowerPanel Personal Edition を拡大または縮小します。
	PowerPanel Personal Edition を終了します。

5. メイン機能:

- ・電源監視: 電源監視画面へのボタン。
- ・設定: バックアップ運転の設定画面へのボタン。
- ・ヘルプ: ヘルプ画面へのボタン。

6. ツールバー:

異なる機能を選択している場合、ツールバーエリアにそれぞれのタブを表示します。

7. 作業領域:

異なるメイン機能やタブを選択している場合、この領域に他の画面を表示します。

8. ステータスバー:

無停電電源装置は正常に作動しています: 電力の問題が起った場合、バッテリーが電力供給出来るよう正常に準備しています。

PowerPanel Personal Edition サービスは準備できていません: PowerPanel Personal Edition が作動を停止した場合、このメッセージが現れます。




無停電電源装置との接続が出来ません: 通信が中断されている場合、PowerPanel Personal Edition は電源監視ができません。

システムトレイアイコン

システムトレイアイコンは UPS の状況を表示し、ショートカットとしてメインインターフェースを開くことができます。

カーソルをシステムトレイアイコンの上に合わせて、現在の UPS の状況を自動的に表示します。

- システムトレイアイコンは UPS の状況を表示します。

	UPS は正常に作動しています。
	UPS はバックアップモードです。
	コンピュータは UPS と通信できません。

- カーソルをアイコンの上に移動すると、短い解説文を見ることができます。解説文は、UPS が充電中、操作中、作動正常、充電完了などの状態を表しています。

解説文は以下になります：

- サービスは実行されていません。
 - コンピュータは無停電電源装置と通信できません。
 - バッテリーは充電中です。
 - バックアップ実行可能時間は xxxx 分間以下になります。
 - バッテリーの電力を使用しています。
- メインインターフェースを起動する場合、アイコンをダブルクリック、また右クリックして、「アプリケーションを開く」を選択して下さい。

PowerPanel Personal Edition のメイン機能

全機能に関してイラストを交えて詳しく説明します。

このセクションは以下の 3 点を説明します：





- パラメーターやフィールドの意味を説明します。
- UPS の現在状況の確認方法、セットアップの修正方法を説明します。
- 自己診断で UPS が正常に作動するかどうかを確認します。これにより電源障害が発生し、バッテリーバックアップ機能が必要になる際、自己診断でバックアップの機能を正常に作動させます。

モニター



ステータス と イベントログ は UPS の状況を監視して、現在の状況と電源異常のログを表示します。

- ステータス
UPS の詳細を表示し、ユーザーに UPS の機能が正常に作動しているかを知らせます。
- イベントログ
電源異常イベント、回数、過去の電源異常イベントでの測定時間を表示します。また、電源異常イベントの累積値も表示します。

ステータス

フィールド	説明	アイコン	状況
～により電力は供給されています	今、電力を供給している電源種類は商用電源です。		商用電源
	電源障害が発生したため、バッテリーバックアップ機能により電力が供給されています。		バッテリー
	バッテリーはコンピュータに電力を供給していません。		供給なし*
電圧は供給されています	UPS の出力電源は商用電源かバッテリーで供給されています。		出力電源は UPS の商用電源です

			出力電源はUPSのバッテリーです
電圧の状況	このアイコンは停電等、電源障害が発生した際に現れます。		電力がありません
	このアイコンは入力電圧が正常値以下であることを表しています。		正常電圧以下
	このアイコンは入力電圧が正常値以上であることを表しています。		正常電圧以上
	このアイコンは電圧上限に達するまで上昇することを表しています。		電圧上昇*
	このアイコンは電圧下限に達するまで減少することを表しています。		電圧減少*
	このアイコンはUPSが正常に作動していることを表しています。		正常
バッテリー残量レベル	バッテリーの現在の残量レベルを表しています。		商用電源でのバッテリー残量レベル
			バックアップモードでのバッテリー残量レベル
バッテリー現在状況	バッテリーは100%充電されています。		充電は完了です
	バッテリーは充電中です。停電等の電源障害が発生し、商用電力回復後に、このグラフは現れます。		充電中です
	バッテリーは放電中です。UPSはバッテリーモードでコンピュータに電力を供給しています。		放電中です
バックアップ可能時間	電源障害が発生し、バッテリーモードに切り替える際、バッテリーバックアップでどれくらいの時間、電源供給が可能か表しています。		バックアップ運転が実行可能な時間を表しています。
			バックアップ運転が実行できる残りの時間を表し

			ています。
バッテリーバックアップ容量*	UPS が内部バッテリーを使用し、電力を供給する際に、バッテリーバックアップの出力率を表します。		商用電源でのバックアップのワット数
			バックアップモードでのバックアップのワット数

*注意: これはすべての機種に対応するとは限りません。

イベントログ

この画面は、主要な電源障害のイベントをリストアップしています。1週間以内、4週間、12週間、24週間と、設定された期間の電源障害イベントを選択することができます。

このログを分析することで電源障害の再確認が可能です。画面は以下のとおりに表示されます：

- **最近の電源異常のログ:**
最近の電源障害イベントの時間と種類を表示します。
- **イベントログ:**
以下はバッテリーの電圧安定化を促す異なるタイプのパワーイベントを表示し、接続機器にバッテリー電力を供給します。
 1. 停電: 商用電源が停電状態にあります。
 2. 正常電圧以下: 商用電源の電圧は、設定された最低(*)値以下です。
 3. 正常電圧以上: 商用電源の電圧は設定された最高(*)値以上です。
 4. 電圧低下: この機能は出力電圧を低下させ、正常値に近づけるようにします。
 5. 電圧上昇: この機能は出力電圧を上昇させ、正常値に近づけるようにします。
(注: 電力低下と上昇機能は一部の無停電電源装置に対応しないことがあります。)
(*: 最大値、最小値については、電圧の項目を参照してください)
- **期間表示**
選択された期間に発生した電源障害のログを表示します。

設定

PowerPanel Personal Edition では、ユーザー自身が UPS の環境設定をカスタマイズすることができます。

設定には 4 種類の画面があります：

- **通知**
電源障害が発生する際に、通知します。
- **実行時間**
電源障害が発生する際に、ユーザー要求に基づいて、バックアップ可能時間を構成します。
- **電圧**
現在の電圧と商用電源の電圧範囲を表示します。
- **自己診断**
UPS のバックアップ機能をテストし、一番最近のテスト結果を表示します。

通知

電源障害イベントが生じた際に、PowerPanel Personal Edition はユーザーに 2 種類の方法で警告します：

1. **ソフトウェアの警告音：**
「PowerPanel 通知音使用可能」をチェックした場合、PowerPanel Personal Edition は電源障害イベントが起こった際に、音声で警告します。
2. **バックアップ運転の警告音：**
UPS のブザーから警告音がします。ブザーの音はソフトウェアの音とは異なる音です。

・警告音を使用します：

警告音を出すようにします。電源障害イベントが起こった際に、無停電電源装置は警告音を出します。

・警告音を使用しません：

警告音を出さないようにします。電源障害イベントが起こった際に、UPS は警告音を出しません。

実行時間

状況に応じ 2 つのモードを選択できます。

- **電力供給の継続:**
このモードはできるだけ長くシステムに電力を供給させます。
- **バッテリー電力の保持:**
選択された時間の長さに応じて、システムに電力を供給させるモードです。

商用電源の電力が供給されている際に、定義された実行時間を越えるという警告のメッセージを示した後、システムはシャットダウンするか休止モードになります。

バックアップ可能時間が 2 分以下になると、システムをシャットダウンするやスタンバイモードが選択されます。

注:スタンバイモードが利用できない際に、警告メッセージが表示した後でシステムのシャットダウンが始まります。

実行時間が短くなると UPS の過負荷 もご参照ください。

電圧

UPS は現在の商用電源の電圧とバッテリーの電圧を表示します。この機能は、UPS 全モデルで利用できるわけではありません。商用電流の電圧が激しく変動し、正常範囲を超えた場合には、UPS はバックアップモードに切り替わり、ユーザーの機器を安全な電圧の範囲で動作させます。

注: 広い電圧範囲は、電圧の変動により大きな損害を与えるリスクがあります。電圧の最大値と最小値を測定する際にはご注意ください。

注: 電圧の範囲が狭い場合は、バッテリー電力を頻繁に使用することがあります。

注: この機能は、UPS 全モデルで利用できるわけではありません。

自己診断

UPS が正常に作動するかどうかを自己診断により検証でき、結果を参考にできます。自己診断の画面で自己診断の開始ボタンをクリックすると、UPS はバックアップモードに切り替わります。そし

て、接続されている機器に電力を供給し、バッテリーの機能をテストします。自己診断終了の際には結果が画面に表示されます。

自己診断が失敗した場合、以下の問題が考えられます:

- UPS に十分な電力がありません。
- UPS に推奨される設定時間より少ない実行時間が設定されています。

注: 特にUPSに接続されている機器については、自己診断されることを強くお勧めいたします。この自己診断により、バッテリー電力と実行時間の測定が改善されます。自己診断の終了後、バッテリー電力と実行時間のより正確な数値を手に入れることができます。

条件

ここでは特別な条件について説明します:

- **UPS の過負荷**
- **休止モード**
- **実行時間が短くなる**
- **スタンバイモード**

UPS の過負荷

コンセントに機器をつなぎすぎると、UPS は過負荷状態となります。過負荷になると、電力が遮断された際に、接続されている機器に十分な電力を供給できず、ブレーカーが落ちる場合があります。UPS が接続されている機器に十分な電力を供給できるように定格容量以内でご使用ください。

休止モード

休止モードが開始されると、コンピュータはデータをセーブし、モニターとハードディスクの電源を停止させます。このモードから回復すると、休止直前の全てのファイルとプログラムは回復されます。

- **説明:**
コンピュータは 10 秒間警告メッセージを表示した後、設定に従い休止モードになります。警告をキャンセルすると、次の警告メッセージが表示されるまでコンピュータを使用することができます。このメッセージは 3 秒間表示されますので、すぐにコンピュータをシャットダウンす

る事をお勧めします。このコマンドを中止した場合、バッテリー電力が低いためコンピュータが予期せぬシャットダウンを実行するおそれがあります。

- **特別条件:**

バッテリーモードで通信が無い場合、休止モードやシャットダウンなどの動作が 5 秒以内に開始されます。

休止モードの利用が出来ない際には、コンピュータのシャットダウンが行われます。

注: 休止モードはコンピュータの種類により、利用できない場合があります。

実行時間が短くなる

PowerPanel Personal Edition は、バックアップ可能時間が 5 分以下になる際に実行時間が短くなるという合図をします。バックアップ可能時間が 2 分以下になる際には、コンピュータは設定に基づきシャットダウン、または休止モードになります。

スタンバイモード

- **スタンバイモード**

コンピュータはスタンバイモードになる際に、電力をセーブするため、モニターとハードディスクの電源を切ります。スタンバイモードで、さらに電源障害が発生した場合、セーブされていないデータやファイルが消える恐れがあります。データ破損や紛失を防ぐ為に、全てのファイルをセーブする事をお勧めします。

用語解説

- **商用電力**

標準コンセントで供給される電力。

- **電圧上昇(ブースト)**

商用電力が定義した値まで下がる際、UPS の内部調節装置が電圧を上昇させること。

- **電圧低下(バック)**

商用電力が定義した値まで上がる際、UPS の内部調節装置が電圧を低下させること。

- **容量**
充電されたバッテリーの電力レベルのこと。
- **休止モード**
コンピュータがデータをセーブし、モニターとハードディスクの電源を切るモードのこと。このモードから回復すると、休止直前のファイルとプログラムを回復させます。
- **通信紛失、通信不通**
何らかの問題によりコンピュータと UPS が通信できない状態のこと。PowerPanel Personal Edition は UPS を監視できません。
- **通知**
電源障害が発生する際に表示されるメッセージのこと。
- **オンライン**
電気が通常のコンセントで供給されている状態のこと。
- **過負荷**
過剰な周辺機器の接続等により、UPS の定格容量を超えている状態のこと。
- **電源障害**
商用電力が中断され、電力を利用することができない状態のこと。
- **実行時間**
UPS がバッテリーの電力で供給出来る時間のこと。
- **スタンバイモード**
コンピュータが電力をセーブするため、モニターとハードディスクの電源を切るモードのこと。スタンバイモードで、さらに電源障害が発生すると、セーブされていないデータやファイルが消える恐れがあります。データの破損や紛失を防ぐために、全てのファイルをセーブする事をお勧めします。